

2014年2月 Rev1.8

1. 誌上発表（原著論文）

- (薬品部) ○ Sakai-Kato K, Hidaka M, Un K, Kawanishi T, Okuda H.
Physicochemical properties and *in vitro* intestinal permeability properties and intestinal cell toxicity of silica particles, performed in simulated gastrointestinal fluids.(シリカ粒子の物理的・化学的特性と、人工腸液・人工胃液を用いた、*in vitro* 腸管透過性と腸管細胞への毒性との関連性に関する研究)
Biochim Biophys Acta, **1840**,1171-1180 (2014)
- (生物薬品部) ○ Morise J^{*1}, Kizuka Y^{*2}, Yabuno K^{*1}, Tonoyama Y^{*1}, Hashii N, Kawasaki N, Manya H^{*3}, Miyagoe-Suzuki Y^{*4}, Takeda S^{*4}, Endo T^{*3}, Maeda N^{*5}, Takematsu H^{*1}, Oka S^{*1}.
^{*1} 京都大学大学院医学研究科, ^{*2} 京都大学大学院薬学研究科, ^{*3} 東京都健康長寿医療センター, ^{*4} 国立精神・神経医療研究センター, ^{*5} 東京都医学総合研究所
Structural and biochemical characterization of O-mannose-linked human natural killer-1 glycan expressed on phosphacan in developing mouse brains. (マウス脳由来ホスファカンに発現した O-マンノース結合型ヒトナチュラルキラー-1 糖鎖の構造的及び生化学的解析)
Glycobiology, **24**(3), 314-324 (2014)
- (生薬部) ○ 堀井周文*, 小此木明*, 大窪敏樹*, 鎌倉浩之, 合田幸広*
クラシエ製薬(株) 漢方研究所
葛根湯エキス製剤および湯剤の同等性に関する研究 (I)
生薬学雑誌, **68**(1), 9-12 (2014)
- (生活衛生化学部) ○ 味村真弓*, 中島晴信*, 吉田仁*, 吉田俊明*, 河上強志, 伊佐間和郎
* 大阪府立公衆衛生研究所
有害物質含有家庭用品規制法で規制されている繊維製品中のトリス (2,3-ジブロムプロピル) ホスフェイト分析法の改定に向けた検討
薬学雑誌, **134**, 259-268 (2014)
- Kitamura, K. *, Maruyama, K. *, Hamano, S. *, Kishi, T. *, Kawakami, T., Takahashi, Y., Onodera, S.*
* 東京理科大学
Effect of hypochlorite oxidation on cholinesterase-inhibition assay of acetonitrile extracts from fruits and vegetables for monitoring traces of organophosphate pesticides. (微量有機リン系農薬モニタリングの為の果実および野菜アセトニトリル抽出物のコリンエステラーゼ阻害試験に対する塩素処理の効果)
J. Toxicol. Sci., **39**, 71-81 (2014)
- (食品添加物部) ○ Kawamura, Y., Etoh, M. *, Hirakawa, Y. *, Abe, Y., Mutsuga, M.
* Japan Inspection Association of Food and Food Industry Environment
Bisphenol A in domestic and imported canned foods in Japan (日本における国産および輸入缶詰食品中のビスフェノール A)

- Food Addit. Contam. A*, **31**, 330-340 (2014)
- Wakita, K.^{*1}, Kuwabara, H.^{*2}, Furusho, N., Tatebe, C., Sato, K., Akiyama, H.
^{*1}NOF Corporation, ^{*2}Shin-Etsu Chemical Co. Ltd.
A Comparative Study of the Hydroxyl and Saponification Values of Polysorbate 60 in International Food Additive Specifications (国際添加物規格におけるポリソルベート60の水酸基価およびけん化価の比較研究)
American Journal of Analytical Chemistry, **5**, 199-204 (2014)
- (衛生微生物部) ○ Matsutani, S.
Evolution of the B-block binding subunit of TFIIC that binds to the internal promoter for RNA polymerase III
 (RNAポリメラーゼIIIの内部プロモーターに結合するTFIIC B-ブロック結合サブユニットの進化)
International Journal of Evolutionary Biology, Volume **2014**, Article ID 609865, 11 pages, 2014年
- (機能生化学部) ○ Kikuchi R¹, Ohata H², Ohoka N, Kawabata A¹, Naito M.
¹東京大学, ²国立がんセンター
APOLLON Protein Promotes Early Mitosis CYCLIN A Degradation independent of the Spindle Assembly Checkpoint (Apollonタンパクは細胞分裂初期におけるスピンドル形成チェックポイント非依存的なCYCLIN Aの分解を促進する)
J Biol Chem, **289**(6), 3457-67 (2014)
- (毒性部) ○ Numano, T.^{*1,*3}, Xu, J.^{*2}, Futakuchi, M.^{*1}, Fukamachi, K.^{*1}, Alexander, D.B.^{*2}, Furukawa, F.^{*3}, Kanno, J., Hirose, A., Tsuda, H.^{*2}, Suzui, M.^{*1}
^{*1}名古屋市立大学大学院医学部医学研究科・医学部^{*2}名古屋市立大学津田特任教授研究室(ナノ材料トキシコロジープロジェクト研究室)^{*3}(株)DIMS医科学研究所
Comparative Study of Toxic Effects of Anatase and Rutile Type Nanosized Titanium Dioxide Particles *in vivo* and *in vitro* アナターゼ型とルチル型のナノサイズ二酸化チタン粒子の試験管内及び動物実験による毒性比較研究
Asian Pac J Cancer Prev. 2014;15(2):929-35.
- (変異遺伝部) ○ Yasui M, Kanemaru Y^{*1}, Kamoshita N, Suzuki T, Arakawa T^{*2}, Honma M.
^{*1}昭和大学^{*2}北海道医療大学
Tracing the fates of site-specifically introduced DNA adducts in the human genome. (ヒトゲノムの特定部位に導入させた1分子DNA損傷の運命と遺伝的影響の追跡)
DNA Repair. 2014;15:11-20.

2. 誌上発表 (総説・解説等)

- (薬品部) ○ 坂本知昭, 村山広大^{*}, 藤巻康人^{**}, 小金井誠司^{**}, 北川雅博^{***}, 小宮山誠^{*}, 香取典子, 合田幸広
^{*}横河電機株式会社, ^{**}東京都立産業技術研究センター, ^{***}エーザイ株式会社
高速 NIR 分光器を活用した錠剤含量分析法 -PAT の可能性を探る
PHARM TECH JAPAN, **30**(3), 45-52 (2014)
- (生物薬品部) ○ 川崎ナナ, 石井明子
第 I 部 新薬創出に向けた日本の戦略 4. バイオ後続品の今

後の動向

医薬ジャーナル増刊号「新薬展望2014」, 50(S-1), 36-42 (2014)

- (遺伝子細胞医薬部) ○ 田埜慶子, 佐藤陽治
再生医療製品の素材としての多能性幹細胞 (ES/iPS 細胞) の品質
レギュラトリーサイエンス学会誌, Vol.4, 71-77, 2014
- (食品添加物部) ○ 河村葉子
国産及び輸入缶詰食品中のビスフェノールA
ILSI JAPAN, 116, 14-19 (2014)
- (衛生微生物部) ○ 小林直樹, 工藤由起子, 寺嶋淳
腸管出血性大腸菌感染症
臨床と微生物, 41(1), 27-31 (2014)
- (医薬安全科学部) ○ 前川 京子, 斎藤 嘉朗
薬物性肝障害の遺伝的素因 –ゲノムバイオマーカーを用いた発症予測の可能性
医学のあゆみ, 248(1), 11-18 (2014)
- (薬理部) ○ 小島肇
技術講座 安全性評価試験 (28) 動物実験代替法を巡る動向 2013年
COSME TECH JAPAN, 4 (3) 36-41 (2014)
- 小島肇
動物実験代替法を用いた「これからの化粧品・医薬部外品の安全性評価とその根拠の示し方」
Cosmetic Stage, 8 (3) 1-8 (2014)
- 小島 肇
代替試験法の重要性と JaCVAM の貢献, および代替法の推進のための問題
消費者法ニュース, 98, 186-187 (2014)

3. 単行本

- (遺伝子細胞医薬部) ○ 中島啓行, 安田智, 佐藤陽治
実験医学別冊 ES・iPS 細胞実験スタンダード
羊土社, 東京 (2014), pp. 61-69
I 基本編-8 ヒト ES・iPS 細胞に由来する再生医療製品の造腫瘍性をどう見るか? について本書の一部を著述した。

4. 学会・講演等

- (薬品部) ○ 合田幸広
医薬品としての生薬・漢方薬研究
日本薬学会東海支部講演会
名古屋市立大学, 平成26年2月24日
- (生物薬品部) ○ 川崎ナナ
バイオ後続品の品質確保に係るレギュラトリーサイエンス上の課題
第11回レギュラトリーサイエンス学会シンポジウム
(2014.2) (東京)
- (医療機器部) ○ 加藤玲子, 佐藤正人¹, 岡田恵里¹, 阿久津英憲², 小久保舞美¹, 河毛知子¹, 宮島敦子, 梅澤明弘¹, 持田譲治¹, 新見伸吾
¹ 東海大学医学部医学科 外科系整形外科学, ² 国立成育医療研究センター再生医療センター生殖・細胞医療研究

- 部
多指症由来軟骨細胞の同種 T 細胞におよぼす影響
第 27 回日本軟骨代謝学会(2014.2)京都
- 迫田秀行, 新見伸吾, 菅野伸彦^{*1}
^{*1}大阪大学大学院医学系研究科
- 小林憲弘
抜去した股関節インプラントの超高分子量ポリエチレン
コンポーネントに含まれる脂質の測定
第 44 回 日本人工関節学会 (2014.2) (沖縄県宜野湾市)
- (生活衛生化学部) ○ 小林憲弘
水道水質管理と検査方法に関する最近の動向
日本水環境学会関西支部企画～水道水中に存在する微量
有機物質に関するセミナー～
(2014.2) (大阪府大阪市)
- (食品部) ○ 手島 玲子
加水分解小麦による小麦アレルギー発症の基礎的検討
医薬部外品に関する共催シンポジウム
主婦会館 (2014.2) 東京都千代田区
- (衛生微生物部) ○ 松谷佐知子
RNA ポリメラーゼ III の内部プロモーターに作用する
TFIIIC の B-ブロック結合サブユニットの進化
日本分子生物学会年会、2013 年 12 月、神戸
- (薬理部) ○ 高橋和也^{*1}, 早川智広^{*1}, 國弘 威^{*1}, 辰田寛和^{*1}, 松居恵
理子^{*1}, 矢田博昭^{*1}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*2}, 古川哲史^{*2}
^{*1}ソニー株式会社, ^{*2}東京医科歯科大学
- 諫田泰成, 平田尚也, 山田 茂, 関野祐子
イメージングによる培養心筋細胞の拍動伝搬評価
第 5 回日本安全性薬理研究会 (2014.2) (東京)
- 諫田泰成, 平田尚也, 山田 茂, 関野祐子
**A novel role of sphingosine-1-phosphate receptor S1PR3 in
cancer stem cell expansion via a Notch-dependent pathway
(Notch 依存的な癌幹細胞の増殖に対する S1P 受容体 3 の
新たな役割)**
Keystone Symposia (2014.2) (バンフ, カナダ)
- 李敏^{*}, 諫田泰成, 関野祐子, 古川哲史^{*}, 黒川洵子^{*}
^{*}東京医科歯科大学
- 李敏^{*}, 諫田泰成, 関野祐子, 古川哲史^{*}, 黒川洵子^{*}
**A novel approach for evaluation of drug-induced QT
prolongation using human induced pluripotent stem
cell-derived cardiomyocytes (ヒト iPS 細胞由来心筋を用
いた薬剤性 QTR 延長評価の新たなアプローチ)**
Biophysical Society 58th Annual Meeting (2014.2) (サンフ
ランシスコ, 米国)

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

- (生薬部) ○ 合田幸広, 袴塚高志
**Forum on Harmonization of Herbal Medicines (FHH)
Subcommittee 2 Meeting**
生薬・薬用植物に関する国際調和のための西太平洋地区
討論会第二分科会
ソウル (韓国), 2014 年 2 月 26 日～27 日
生薬・薬用植物に関する国際調和のための西太平洋地区討
論会第二分科会に参加し, 生薬標準品の作成, 公開, 頒布
方法等について審議した。
- (安全情報部) ○ 登田美桜
The Thirty-third Session of the Codex Committee on Fish

and Fishery Products**(第33回コーデックス魚類・水産製品部会)**

ベルゲン（ノルウェー），2014年2月17日～21日
第33回コーデックス魚類・水産製品部会では，58加盟国，1加盟機関，5国際機関より合計161人が参加し，生及び活二枚貝の規格におけるバイオトキシンの参照法及び確認法の性能基準案，急速冷凍ホタテ貝柱の規格案，ヒスタミンの討議文書をはじめとする14議題について討議を行った。

(薬理部) ○ 小島 肇

OECD skin sensitization assay expert group (OECD 皮膚感作性試験専門家グループ会議)

パリ（フランス），2014年2月12-14日

OECD 皮膚感作性試験専門家会議に参加し，DPRA（ペプチド結合試験）および KeratinoSens 試験法ガイドライン案の内容について討論した。

6.新聞・テレビ等

報告なし